

授業科目名・形態	成人看護方法論Ⅰ 演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	佐藤 純子・渡邊 知子	実務経験の有無	有	開講期	2年前期・後期

【授業の主題】

慢性疾患を持つ成人期にある患者およびその家族を理解すると共に、代表的な慢性疾患、特に生活習慣病を中心にセルフケア行動の確立を目指し、各疾患の予防法、日常生活上の留意点、看護援助の方法等について学ぶ。各年代におけるがん看護の特殊性、その倫理的課題や予防および早期発見における活動についても学ぶ。

【到達目標】

1. 生活習慣と疾患との関連性について理解を深め、自分自身の生活習慣を振り返り、予防活動を理解する。
2. がん現状とその看護について理解を深め、倫理的課題や予防活動についても知る。

【授業計画・内容】

第1回～12回 担当：渡邊

- 第1回 慢性期看護の考え方①
- 第2回 慢性期看護の考え方②
- 第3回 慢性期にある人と家族の特徴と理解①
- 第4回 慢性期にある人と家族の特徴と理解②
- 第5回 慢性期にある人と家族への看護援助①
- 第6回 慢性期にある人と家族への看護援助②
- 第7回 慢性の呼吸機能障害をもつ患者の看護①
- 第8回 慢性の呼吸機能障害をもつ患者の看護②
- 第9回 慢性の循環機能障害をもつ患者の看護①
- 第10回 慢性の循環機能障害をもつ患者の看護②
- 第11回 慢性の脳・神経機能障害をもつ患者の看護①
- 第12回 慢性の脳・神経機能障害をもつ患者の看護②

以下 担当：佐藤

- 第13回 慢性の栄養摂取・代謝機能障害をもつ患者の看護①
- 第14回 慢性の栄養摂取・代謝機能障害をもつ患者の看護②
- 第15回 慢性の栄養摂取・代謝機能障害をもつ患者の看護③

- 第16回 自己管理をする患者への援助（演習）
- 第17回 慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護①
- 第18回 慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護②
- 第19回 慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護③（事例展開）
- 第20回 慢性の運動機能障害をもつ患者の看護①
- 第21回 慢性の運動機能障害をもつ患者の看護②
- 第22回 慢性の生体防御機能障害をもつ患者の看護①
- 第23回 慢性の生体防御機能障害をもつ患者の看護②
- 第24回 慢性の排泄機能・性機能障害をもつ患者の看護
- 第25回 慢性の感覚機能調節障害をもつ患者の看護
- 第26回 慢性の造血障害を持つ患者の看護
- 第27回 がん医療の現状とがん看護の特殊性
- 第28回 がん治療法に対する看護
- 第29回 がん患者の看護（事例展開）
- 第30回 まとめ

【授業実施方法】 主として講義形式で行い、適宜、演習やグループワークを取り入れる。

【授業準備】 解剖生理学や疾病について復習し、講義中に取り上げる疾患の看護についても予習して下さい。また、慢性疾患の新たな動向にも着目し、講義内容の理解を深めて下さい。

【教科書等】 成人看護学 慢性期看護論 ノーヴェルヒロカワ、系統看護学講座 がん看護学 医学書院 NICE 成人看護学 成人看護技術 南江堂

【参考文献】 臨床看護技術ガイドほか、授業中に適宜紹介する。

【成績評価方法】 前期・後期毎に試験を実施し、合わせて100点とする。試験（80%）、課題提出・受講態度など（20%）を総合的に評価する。

【主な関係科目】 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅱ・Ⅲ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅰ・Ⅱ

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で多くの部署を経験。幅広い体験から、多様な方向性から看護を考えていくことができる。それを講義の中で、体験談として話して、看護のイメージを膨らませていきたい。

【学生へのメッセージ】

慢性のさまざまな障がいをもつ患者の看護を学ぶと共に、各自の生活習慣も振り返りましょう。